

学校評価について

- 学校評価は、学校経営ビジョンの重点事項に関係する質問で構成する。なお、令和5年度の学校経営ビジョンの重点事項は「学習意欲の向上」「思いやりの心と向上心の育成」「たくましい心と体の育成」「社会に貢献する人づくり」の4項目である。
- 4項目に関する質問を3つずつ設定する。
- 職員、児童生徒、保護者、学校運営協議会委員に評価をしてもらう。質問は、同じ内容とする。児童用の質問は、児童でもわかる同義の文に書き換える。
- 各質問について、「思う」「どちらかと言えば思う」「どちらかと言えば思わない」「思わない」の4件法で回答を求め、「思う」～「思わない」を4点、3点、2点、1点として平均を求める集計と、「思う」「どちらかと言えば思う」の人数と、「どちらかと言えば思わない」「思わない」の人数の比率を求める集計を行う。ただし、保護者のアンケートには「わからない」という回答欄を設ける。
- 質問項目は以下のとおり。

	職員・保護者・学校運営協議会委員・生徒用（保護者用は文頭に「自分の子どもは」、職員用は「本校の生徒は」、「本校の児童は」、運営協議会は「本校の児童生徒は」を付ける。生徒用は何もつけない。）
学習意欲の向上	授業に意欲的に取り組んでいる。
	自宅で勉強する習慣（塾を含める）が身に付いている。
	時間を見つけて読書をするよう心がけている。
と 向 上 心 の 育	あいさつや言葉遣いなど礼儀作法に気を付けている。
	思いやりややさしさを大切にして毎日を過ごしている。
	夢や希望をもち、努力している。
と 体 の 育 成	あきらめずに、粘り強く最後まで取り組むよう心がけている。
	規則正しい健康的な毎を送るための食事、睡眠、運動等に心がけている。
	学校や社会を安心・安全に過ごすためのルールやマナーを守って毎日を過ごしている。
人 づ く り	ふるさと三納が好きである。
	ふるさと三納の良さに気付いている。
	ふるさと三納に貢献したい。

令和5年度における重点目標に関する主な取組

重点	評価規準	令和5年度の主な取組
学習意欲の向上	授業に意欲的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の常時指導 ・学習態度週間の設定と生徒会活動の連携 ・ひなたの学びに関わる研修授業の実施 ・個別最適な学びの構築 ・C u b e n a（タブレット用ドリル教材）の活用 ・集会時における授業の受け方等の説明 ・各種学力調査の分析と過去問題の活用 ・定期テスト、小テスト、コグトレ等を利用した児童生徒の学力の評価と授業の改善 ・自分の考えをまとめる場を増やす取り組み ・問題解決的な学習の場の設定 ・特別支援学級のスポンジボール集め、ロボットコンテストの参加等の外発的動機付け ・中学部教員の小学部への乗り入れ授業 <p style="text-align: right;">等</p>
	自宅で勉強する習慣（塾を含める）が身に付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習帳を利用した主体的な学習習慣の構築 ・生徒が主体的に難易度を選択して教材を選択した受験用問題集の取組 ・児童生徒への学習習慣調査のフィードバック ・参観日や集会における学習状況調査の報告と家庭学習時間確保の呼びかけ ・自宅学習の改善を図るための学級活動や教育相談の実施 ・タブレットPCを家庭に持ちかえりC u b e n aに取り組ませる週間の実施 <p style="text-align: right;">等</p>
	時間を見つけて読書をするよう心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝自習における読書時間の設定 ・教師、地域活動団体、ボランティアによる読み聞かせの実施 ・新聞の掲示、新聞への作品投稿 <p style="text-align: right;">等</p>
思いやりの心と向上心の育成	あいさつや言葉遣いなど礼儀作法に気を付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による率先垂範 ・即時指導の共通理解と実践 ・朝のボランティア活動 ・生徒会活動によるあいさつ運動 ・清掃について考える時間の設定 ・立腰指導 <p style="text-align: right;">等</p>
	思いやりややさしさを大切にして毎日を過ごしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ根絶週間や人権週間における授業の充実 ・各種アンケート（Q U等）を用いた実態分析と目指す児童生徒像の短期的設定と共通理解 ・個別の教育相談期間の設定 <p style="text-align: right;">等</p>

	夢や希望をもち努力している。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関する学級活動や道徳の授業実施 ・職業体験学習の実施 ・社会科見学の実施 	等
たくましく心と体の育成	あきらめずに、粘り強く最後まで取り組むよう心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自力登校の推奨 ・部活動の推奨 ・課題等を最後まで取り組ませるための放課後学習会の実施 ・しなやかなマインドセットに関する共通理解 ・やればできるという気持ちを大切にした校長講話 	等
	規則正しい健康的な毎日を送るための食事、睡眠、運動等に心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートを用いた実態分析と目指す児童生徒像の短期的設定と共通理解 ・すこやかチェック、すこやかウィークでの呼びかけ ・保健だより、生徒会だより等、健康面や安全面に関する通信の発行 ・メディアコントロール月間の設定 ・睡眠時間チェックとそのフィードバック ・栄養教諭（妻中学校所属）による食育の計画的な実施 	等
	学校や社会を安心・安全に過ごすためのルールやマナーを守って毎日を過ごしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートを用いた実態分析と目指す児童生徒像の短期的設定と共通理解 ・出前授業を活用した情報モラル教育、SDGsに関する教育の実施 ・ルールやマナーの常時指導 	等
社会に貢献する人づくり	<p>ふるさと三納が好きである。</p> <p>ふるさと三納の良さに気付いている。</p> <p>ふるさと三納に貢献しようとする意欲がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間における三納地域の学習（探究活動） ・地域づくり協議会を中心とした、地域と連携した教育活動（地域の人材を生かした学習、長谷観音祭りや三納フェスタの連携等）、JA西都の協力を得た米作り体験等の実施 ・ホームページの更新 ・民生児童委員、PTA役員、地域づくり協議会等による声かけ運動 ・校長による学校だよりの発行と地域への配付及びホームページ掲載 ・写真短歌集「月」の制作 	等

小学部の集計結果

「思う」4点、「どちらかと言えば思う」3点、「どちらかと言えば思わない」2点、「思わない」が1点とした場合の平均

「どちらかと言えば思わない」「思わない」を付けた人数

	1年	1保	2年	2保	3年	3保	4年	4保	5年	5保	6年	6保	教員
学習意欲	3.6	3.7	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.6	3.0	3.5	3.0	3.1	2.9
自宅学習	3.8	2.9	3.7	2.7	3.4	3.0	3.5	3.1	3.4	3.1	3.0	2.5	2.6
読書	3.3	2.1	2.6	1.9	2.8	1.7	2.1	2.1	2.4	1.9	1.9	2.0	1.9
礼儀	3.8	2.6	3.3	2.7	3.2	2.8	3.6	3.0	3.7	3.0	3.3	2.9	2.3
思いやり	3.1	2.8	3.5	3.2	3.2	3.5	3.6	3.5	3.6	3.2	3.2	3.0	2.8
夢・目標	3.9	2.2	3.5	2.8	3.8	2.9	3.1	2.6	2.8	3.0	3.2	2.6	2.0
粘り強さ	3.8	2.3	3.8	2.7	3.6	3.0	3.1	3.2	3.3	3.1	2.9	2.6	2.6
健康的	3.7	2.7	3.3	3.2	3.4	3.0	3.1	2.8	3.1	3.0	2.5	2.6	2.9
きまり	3.3	2.8	3.3	3.1	3.1	3.3	3.5	3.5	3.3	3.7	3.3	3.4	3.0
三納好き	4.0	3.1	3.9	3.3	3.9	3.1	4.0	3.8	3.4	3.3	3.2	3.0	3.4
三納良さ	3.0	2.7	3.3	3.4	3.4	2.9	3.8	3.1	3.4	3.4	3.0	2.9	2.8
三納貢献	3.6	2.5	3.7	3.3	3.6	2.3	3.0	3.1	2.5	3.3	2.3	2.4	2.4

	1年	1保	2年	2保	3年	3保	4年	4保	5年	5保	6年	6保	教員
学習意欲	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	3	2	2
自宅学習	0	2	1	2	2	2	2	3	1	4	3	3	3
読書	0	8	4	7	4	6	4	6	6	7	9	5	7
礼儀	0	5	1	3	0	2	0	1	0	2	1	2	6
思いやり	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
夢・目標	0	7	1	3	0	2	0	3	4	4	1	3	6
粘り強さ	0	6	0	3	1	1	1	1	1	2	3	4	5
健康的	0	3	1	1	2	2	2	3	3	3	5	3	2
きまり	1	2	3	2	2	1	2	1	0	0	0	0	1
三納好き	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1
三納良さ	1	4	1	0	0	2	0	2	1	0	2	1	4
三納貢献	0	4	1	0	0	3	0	2	4	0	6	3	5

※ 黄色は3点（どちらかと言えば思う）に達していない項目

※ 青色は、半数以上の児童・職員が「どちらかと言えば思わない」「思わない」を付けた項目

中学部の集計結果

「思う」4点、「どちらかと言えば思う」3点、「どちらかと言えば思わない」2点、「思わない」が1点とした場合の平均

「どちらかといえば思わない」「思わない」を付けた人数の合計

	1A	1A保護者	1B	1B保護者	2A	2A保護者	3A	3A保護者	B,C以外教員	B,C教員
授業態度	3.1	2.8	3.3	3.0	3.5	3.3	3.7	3.2	3.3	2.3
自宅学習	2.7	2.8	2.0	1.5	2.2	1.9	3.1	3.1	2.1	1.0
読書	2.1	1.8	1.0	1.0	2.2	1.9	1.7	1.9	2.0	1.0
礼儀	3.4	3.3	2.8	2.5	3.7	3.4	3.9	3.1	3.5	2.3
思いやり	3.5	3.4	2.8	3.0	3.9	3.7	3.9	3.4	3.4	2.0
夢・努力	3.0	2.7	3.3	2.3	3.4	2.9	3.5	3.2	2.6	2.0
粘り強さ	3.0	2.7	3.0	1.5	3.2	2.5	3.2	3.2	3.0	1.3
健康	3.1	3.1	3.3	1.8	3.4	3.3	3.3	2.8	3.3	2.0
ルール	3.6	3.4	3.0	2.3	3.7	3.8	3.9	3.4	3.5	2.0
三納好き	3.6	3.1	2.0	2.5	3.6	3.2	3.7	3.5	3.5	2.3
三納よさ	3.2	3.0	2.0	2.3	3.8	3.1	3.7	3.2	3.3	2.0
三納貢献	3.1	2.5	1.8	1.8	3.5	2.8	3.1	2.5	3.1	1.7

	1A	1A保護者	1B	1B保護者	2A	2A保護者	3A	3A保護者	B,C以外教員	B,C教員
授業態度	2	3	0	0	0	0	0	2	0	2
自宅学習	6	4	3	4	7	9	3	5	6	3
読書	9	10	4	4	6	7	12	13	7	3
礼儀	1	2	2	2	0	1	0	1	0	2
思いやり	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
夢・努力	3	4	1	2	1	3	0	2	3	3
粘り強さ	2	4	0	4	2	4	2	2	1	3
健康	1	2	1	3	2	1	1	6	0	2
ルール	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
三納好き	0	2	3	2	0	1	0	0	0	2
三納よさ	2	2	3	2	0	1	0	2	1	2
三納貢献	2	4	3	3	1	3	1	6	0	3

※黄色は3点「どちらかといえば思う」に達していない項目

※ 青色は半数以上の生徒、職員が「どちらかといえば思わない」「思わない」を付けた項目

学校運営協議会の集計結果

「思う」4点、「どちらかと言えば思う」3点、「どちらかと言えば思わない」2点、「思わない」が1点とした場合の平均

「どちらかといえば思わない」「思わない」を付けた人数の合計

	学校運営協議会の評価
授業態度	3
自宅学習	2
読書	1.6
礼儀	3.3
思いやり	3.3
夢・努力	2.8
粘り強さ	3
健康	3.2
ルール	3.5
三納好き	3.7
三納よさ	3.2
三納貢献	3

	学校運営協議会の評価
授業態度	1
自宅学習	5
読書	5
礼儀	1
思いやり	0
夢・努力	1
粘り強さ	1
健康	0
ルール	0
三納好き	0
三納よさ	1
三納貢献	1

※黄色は3点「どちらかといえば思う」に達していない項目

※ 青色は半数以上の生徒、職員が「どちらかといえば思わない」「思わない」を付けた項目

アンケート結果から見た今後の取組の考察（学校運営協議会からの提案）

重点	評価規準	今後の取組の概要
学習意欲の向上	授業に意欲的に取り組んでいる。	どの学年も「どちらかと言えば思う」よりも高い平均点となっており、保護者、教員の評価もおおむね良好である。さらに児童生徒の学習意欲を高める授業づくりを図るために、より多くの授業に個別最適な学びを取り入れることが必要であると考えられる。課題設定、学習計画、課題解決、まとめにおいて、できるだけ、児童生徒のニーズに対応した授業を構築していくとよいのではないかと考える。
	自宅で勉強する習慣（塾を含める）が身に付いている。	中学部においては生徒、保護者、教師共に評価が低い。教頭、学級担任、学習指導担当教師等が生徒、保護者全体に勉強時間確保の重要性に関する話をする等、学力を向上させるためには、家庭でのまとまった量の勉強時間が必要であることをしっかりと認識してもらう必要があると考える。また、学習計画を立てさせると共に、学級担任等でその計画をアセスメントし、面談等でフィードバックしているが、フィードバックの仕方を、学習成果を含めて具体的に行うようにしたい。さらに、これまでよりもタブレットを用いたドリル学習（Cubena）を家庭学習として行わせる機会を増やし、学習状況を定期的にチェックするとよいと考える。目標をクリアしたら、それを確認できるようなシールなどを貼らせる等、意欲付けを図る必要もある。加えて、間違えた問題は、メモして（あるいは問題用紙のまま）所定のケースに保管させ、定期的に取り組む場を授業内に設定したい。その他、宿題を含め、詳細な解説（自学できる解説書）を付け、自学自主がスムーズに行えるような課題にするとよいのではないかと考える。
	時間を見つけて読書をするよう心がけている。	読書をする時間が児童生徒共に短い。今後、地域と連携した取組を構築したい。読み聞かせを行うだけでなく、本の紹介や三納に伝わる話、絵本作り等、様々な読書に関わる取組を行う必要があると考える。加えて、家庭との連携を図った読書週間の設定、西都市立図書館の活用（読書貯金通帳やブックトーク等）も取り入れるとよいのではないかと考える。
思いやりの心と向上心の育成	あいさつや言葉遣いなど礼儀作法に気を付けている。	全体的に良い。これまで通り、教師の率先垂範、常時指導、繰り返し指導を心がけたい。また、小学部においては意図的なトレーニングの場を設定するとよいと考える。
	思いやりやさしさを大切にして毎日を過ごしている。	小中共に全体的に高い。これまで同様、いじめ根絶に関する授業、人権に関する授業を実践するが、学年混合のグループによる協動的な学びを増やし、より広い人間関係の中で、人権について考える場を設定するとよいのではないかと考える。小学部においては、さらに、人権に関する授業の充実、特に、小学部全体的で充実した取り組みを図ることができるよう、授業や人権週間における活動の工夫を図る必要があると考える。
	夢や希望をもち努力している。	児童生徒と保護者との差がうかがえる。やればできるという、「しなやかなマインドセット」を心がけさせるよう話を行い、努力を惜しまない姿勢がうかがえれば随時称賛していくとよいのではないかと考える。また、これまで同様、学級活動や総合的な学習の時間に、自分を見つめ、夢や希望について語る場を積極的に設定したい。

たくまし心と体の育成	あきらめずに、粘り強く最後まで取り組むよう心がけている。	児童生徒と保護者との評価に差がうかがえる。児童生徒の評価が高い。今後、努力、粘り強さに関する道徳科の授業等、授業を増やすとよいのではないかと考える。また、取り組む姿勢の質を高める必要性を認識させるために、行事や部活動等で多少の困難があっても、さらに上を目指してあきらめずに取り組むよう声かけを心がけていく必要もあると考える。
	規則正しい健康的な毎日を送るための食事、睡眠、運動等に心がけている。	全体的に評価が高い。食育に関する授業、睡眠に関する講演会、運動の大切さに関する授業等をこれまで同様に行っていく必要があると考える。
	学校や社会を安心・安全に過ごすためのルールやマナーを守って毎日を過ごしている。	全体的に評価が高い。これまで同様、共通理解、共通実践を図り、隙が生じないようにしていく必要があると考える。また、小さな問題を見逃さない指導、組織的な対応、保護者との連携を継続していく必要があると考える。
社会に貢献する人づくり	<p>ふるさと三納が好きである。</p> <p>ふるさと三納の良さに気付いている。</p> <p>ふるさと三納に貢献しようとする意欲がある。</p>	児童生徒、教師の評価は高いが、「三納に貢献しようとする意欲」について保護者の評価が低い。児童生徒の取組を、保護者や地域の方々に知ってもらうことが、地域のためになるという認識をもたせ、実際に保護者や地域の方々に自分たちの活動を紹介する場の充実を図る必要があると考える。また、教科や行事での振り返りの中に、地域という要素を入れ、例えば、発電について学んだ児童生徒に、「三納のためになる発電方法は何か」等の地域と絡めた発問を設定するなどの工夫があるとよいと考える。加えて、地域のために考えたことや実践したことを定期的にポートフォリオとしてまとめる場を設定していく必要もあるのではないかと考える。その他、三納の人材や学習材の活用、さらに、その活用のネットワークの整備については不十分であるため、それらをさらに推し進めていくことが喫緊の課題であると考えます。

○ その他、学校運営協議会委員の意見

- ・ 小学部の全体的な傾向として、教員の評価が低い。教員が目指す目標のレベルが、児童や保護者に認識されていない状況もあると考えられるので、教師の考える目標を児童や保護者に認識してもらう場も必要ではないかと考える。
- ・ 中学部においては、特別支援教育のますますの充実が求められると考えられる。
- ・ 子どもたちが願う気持ちに、保護者、先生、地域は答えられているか疑問に思うことはある。子供が頑張る姿を保護者が見ていないのでは。何かといえば学校任せになっているのではないか。保護者も、自身の教育を定期的に自己評価していく等により意識改革をしていく必要があり、子どもと保護者の温度差をなくするような取組も考えるべきである。子どもたちが自分の考えで行動する、そして、周りとの調和して将来のビジョンが思い描けるような学校づくりを考えていきたい。
- ・ 全体的に意欲的に学校生活を過ごせているように思う。自宅学習や読書については、児童生徒がそれぞれ何のために学習するのかを明確にできておらず、保護者のみなさんも18歳になるまでに、どのように成長してほしいか、育てていきたいかなど、理想とする子育てのビジョンがはっきりしていない方が多いのではないか。学校の考える目標を認識してもらうと同時に、各家庭の考える目標を明確にし、それを共有することも必要ではないかと思う。
- ・ 学習意欲の向上について、自宅学習や読書についての評価が低いので喫緊の課題であると思う。授業は、自宅での学習や読書の習慣があつてこそ、その成果が上がると思う。社会に貢献する人づくりについて、子供たちは三納のことに本気で好きで、三納のよさに気づいているのだろうかという疑問に思う部分もある。三納のことを学ぶ、あるいは知る機会が授業にしかないようにも感じる。今後の課題として、学校と地域の連携を強め、子供たちがもっと三納の自然の中で、学校を離れたところで遊び、地域の行事の中に溶け込んでいけるような機会ができればと思う。もちろん、保護者も。保護者自身が知らないから、子どもに教えられないということもあると思う。
- ・ 現4～6年生に、「学び取る力」「共存する力」など、新設中学校においても楽しい中学生生活を送れるようにするための力の育成を図りたい。また、三納中学校閉校のための委員会については、どのようなことでも協力していきたい。
- ・ ほとんどの項目で保護者の評価が厳しいものとなっている。それは立場の違いなのか、それとも保護者が見えていないのか。捉え方でだいぶ変わってくるように思われる。私の感覚ではあるが、子供たちは一生懸命やっているとと思うが、保護者にはそう映っていないのだろうか。私自身においては、連続的な観察ではなく、単発的な観察なので、その差もあるのではないだろうか。
- ・ 読解力を身につけることで他の教科にも良い影響を与えると思うので、毎日少しずつでも読書を習慣づけることが大事だと思う。